



米国の公共放送でフォローする世界金融危機

開発経済調査部 主任研究員 福田 幸正

「本日のわれらがインディケータはNN。ピークの半分を割ったし平常値復帰までもう一息」で始まるポッドキャストは米国の公共放送NPR(National Public Radio)のウェブ・サイトの金融情報ブログ”Planet Money”。“われらがインディケータ”とはその日のTEDスプレッド¹を指す。同ブログではこういう時期であればこそ日々の株価の振幅に一喜一憂すべきでなく、TEDスプレッドが低下していけば自ずと株価も回復していくとし、株価指数ではなく金融市場の不安度を示すTEDスプレッドの動向を一貫して重視している。

9月15日のリーマン破綻以降の世界金融危機を当の震源地のアメリカ人一般がどのように捉えているのか関心を抱いた。そこでかねてよりAFN²で密度の高い時事問題報道を行なっているNPR(<http://www.npr.org/>)のラジオ番組 “Talk of the Nation”を聞いていたが(月～金：午前4～6時)、これを手がかりにNPRのブログ”Planet Money”(<http://www.npr.org/blogs/money/>)を見つけ毎日チェックするようにしている。

“Planet Money”は最近とみに世界経済動向が米国国民生活に直接的に影響を与えているにもかかわらず、世界経済理解のための報道番組が意外に少ないとの認識のもと、本年8月末頃に開設されたブログである。奇しくもその直後にリーマン・ブラザーズの経営破綻が起こり、それ以降は新たな意味付けのもと毎日活発な発信を行なっている。すなわちリーマン破綻後の同ブログの基本的スタンスは、今回の金融危機を金融の専門家の独占事項とせず、「影響を受ける米国一般国民としてこの機会に金融危機を皆で理解しよう。そしてこの世紀の困難を皆で乗り切ろう」ということを明確に志向している。ただし、当初からのモットー「知的かつ楽しく」という姿勢は変わっていない。暗くなってもしょうがないし、ましてやパニックに陥ることは最悪、というスタンスだ。同ブログには様々な関係者が登場し様々な角度から平易な言葉で金融危機の原因が追究されている(専門家へのインタビューで専門用語が発せられた途端にカットが入り一般聴取者のために簡潔な解説が求められる)。同時に生活実感とともに実体経済への影響の探求が試みられている。最近では毎週特別テーマを設けて解説することになったが、初回は「そもそもマネーとはなにか」であった。有益な関連リンクも多数張られているのはありがたい。またポッドキャストの音声情報は活字を読むのが難儀になってきた向きには助かるし、リスニングの訓練にもなるので一石二鳥だ。元IMFのチーフ・エコノミスト Simon Johnson 氏もしばしば登場しブログの守り立てに協力している。リンクされている同氏のサイト”The Baseline Scenario”(<http://baselinescenario.com/>)は「今更周囲

¹ 3ヶ月物米短期国債(T-bill)と3ヶ月物ユーロドル(EuroDollar)Libor(ロンドン銀行間市場金利)との金利差

² AFN(American Forces Network)は1997年にFEN(Far Eastern Network)が改称した米軍放送。関東地域810kHz

に聞けない」という“専門家”にとっても金融危機理解に便利だ。更に NPR の姉妹組織 PBS(Public Broadcasting Service : 米国の公共テレビ放送ネットワーク)のウェブ・サイトに飛べば(<http://www.pbs.org/>)、そこでも時宜を得た番組が組まれており、特に最近注目されている金融危機に関する本の著者とベテラン・ジャーナリスト Bill Moyers 氏とのインタビューは興味深い。

(“Bill Moyers Journal” <http://www.pbs.org/moyers/journal/index-flash.html>
ご参考までに文末に筆者が興味をもった記事を御紹介させていただいた。)

これら NPR、PBS ともいわゆるリベラル派の報道機関と目されており、内容の賛否はそれぞれの判断にお任せするが、その真摯な報道姿勢は好感が持てるし、報道内容のレベルも高い。過度に悲観的にも楽観的にもならず冷静な視点で米国国民に対してこの難局を乗り切ろうという力強いメッセージを送っており、そこには爽やかささえ感じられる。それに比べて・・・とは言いたくはないが、いたずらに不安を煽る言葉が踊るわが国とは悲しいかな大きな違いがある。

- 2008 年 11 月 7 日、Kevin Phillips, “Bad Money”
<http://www.pbs.org/moyers/journal/11072008/profile.html>
- 2008 年 10 月 24 日、James K. Galbraith, ”Predator State”
<http://www.pbs.org/moyers/journal/10242008/profile.html>
- 2008 年 10 月 10 日、George Soros, “The New Paradigm for Financial Markets”
<http://www.pbs.org/moyers/journal/10102008/profile.html>
- 2008 年 6 月 13 日、Steve Fraser, “Wall Street: America’s Dream Palace”
<http://www.pbs.org/moyers/journal/06132008/profile2.html>

以上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2008 Institute for International Monetary Affairs (財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokucho 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話 : 03-3245-6934 (代) ファックス : 03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>